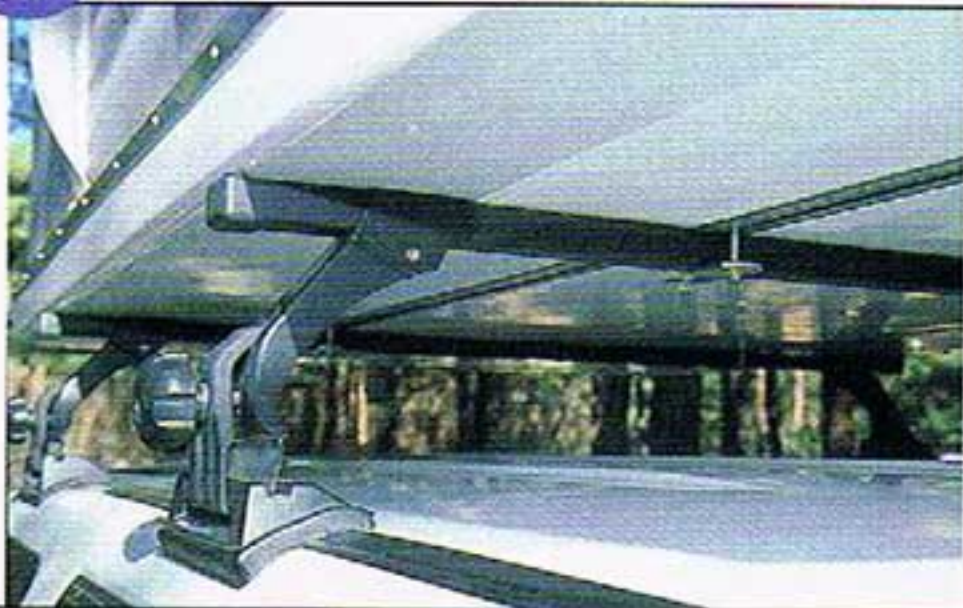




ROOF TENT CAMPER

いつものクルマをそのままキャンプ！  
セッティングも撤収も簡単

POINT 2 取り付けにはルーフキャリアが必要



●3タイプあるルーフテントは、取り付けのためにすべてのモデルでルーフキャリアが必要。キャリアの最大積載重量以内のモデルが取り付けできる。ルーフテントそれぞれの重量についてはP43のスペックを参照

POINT 1 乗り降りは折り畳みラダーで



●付属のアルミラダーを使って乗り降りする。防錆加工されたラダーは、クルマの高さに合わせて長さ調節ができる。裸足で乗り降りすると足の裏が痛かったため靴を履いたままだが、その場合、靴の置き場はどうしよう？

まず、だれもが気になるのはその居住性だと思う。エクストリームは2人用で、室内は展開時の実測が長さ187×幅118×高さ87cm。感覚はバンコンのポップアップルーフのようだ。ルーフの上がまるまる就寝スペースとなるので、思っていた以上に広く感じる。

最初のルーフテントは1958年にイタリアのオートホーム社で製造された。現在は、形状別にマジヨリーナ、コロンプス、オーバーキャンブの3タイプあり、さらに使用人数によって全13モデルがラインナップされている。なかでも特に人気のあるマジヨリーナのエクストリームを借りて、体験・テストしてみた。

釣りやカヌー、トレッキングなどに出掛け、気に入った場所があったら、その場でキャンプ！なんていう使い方ができるのがルーフテントの魅力。いつも使っているクルマのルーフに載せるだけで使えるので、オフロード車に取り付けられれば山奥にも入っていけるし、走り重視ならステーションワゴンに付けることもできる。クルマを選ばずに付けられる手軽さがある。今回取り付けたクルマはいすゞのビッグホーンだが、ルーフキャリアが付いていればセダンにだって取り付けできる。

テントとキャンピングカーのいいとこ取り！